

# 寄ろうでえ〜！

## 赤名川オープン

赤名地区 集落支援員

金藤 正道さん  
かねとう けいどう

昨年4月から赤名地区の集落支援員として、赤名公民館の中に机を置き、地域の活性化に取り組んでおられます。

中市にある福島邸(旧福島呉服店)を活用し、小さな拠点への取り組みを始められました。

### 集落支援員として目指すところは

支援員として2年目に入りましたが、以前から赤名の町の人達が「親しく寄って話の出来るところが欲しい」という意見を聞いていました。また、小さな拠点づくりの必要性ということが言われていますが、どうすれば地域の人達が住みやすい町に



なるかということと合致させなければなりません。

まずは地域の方が寄り集まり、様々な情報交換をすることで課題が見えてくるのではないかと、というところからはじめています。

上赤名や下赤名は、農業の繋がりがりや毎月の常会があり、交流が保たれているようです。赤名はそのような機会が無いので、家は近いのに交流が希薄なところがあるのではと感じます。

私は、希薄になった人間関係をもう一度育てていきたいと考えています。ここは、私が地域の皆さんに寄り添い、皆さんが互いに寄り添う場所にしてもらいたいと考えています。

### 皆さんが立ち寄りたくなる施設として何を考えているのか

今年度は、福島邸に来てもらうために、赤名の歴史の話や展示会、音楽会など、ジャンルにとられない形で催しに取り組んでいきます。そして、赤名の皆さんは何に興味を持っていたのか、何をしたいのか、ここに来て何をすれば一番心地よいかを探りながら事業を進めていく考えです。

「寄ろうでえ〜！赤名川」は毎月一回、第3木曜日の10時から12時まで交流会を行います。私は、10月から毎週火曜日と金曜日に福島邸にいて、交流を深めていくことにしています。



### 今月の表紙写真



「そうきましたか」と相手の長考一手にまた長考。自宅では味わえないギャラリー付の囲碁や将棋が福島邸では楽しめます。隣では女性たちがお茶を飲みながら賑やかに昔話に花を咲かせていました。花札やトランプなどの大勢で楽しむゲームや、面白いのは健康にも効果ある腹式呼吸の「吹き矢」やコツコツとトレーニングに励むルームランナーまであります。「みんなで楽しいことを」を合言葉に明日も福島邸で会いましょう!!

### 編集後記

今回も災害対策を問う質問者が3名ありました。

近年は災害が多発し、災害列島といっても良いほどの状況が続いています。

先日、「日本列島の異常な気象状況はこれからも続き、豪雨は今後ますます規模が拡大するというのが専門家の一致した意見」という報道もありました。

異常気象の際には、「まず我が身を守ってください」と言われますが、高齢化率が44パーセントを超える飯南町では、この基本となることもままならないのが現状になってきました。

地域ではお年寄りや障害をお持ちの方など、自発的な避難が難しい人が数多くおられます。その人達を安全な場所に誘導することが求められます。自治会・組寄りなど、機会があるごとに避難場所や避難経路、避難方法などを話し合う機会を持つことが必要だと思います。何か問題がある場合には、直ちに町に相談することをお勧めします。議員に相談を持ちかけてもらっても良いと思います。知恵を出し合って困難な状況に至らないよう努力して参ります。

安心して暮らせるまちを目指して、手を取り合っていきましょう。

議会広報編集委員会 伊藤 好晴